

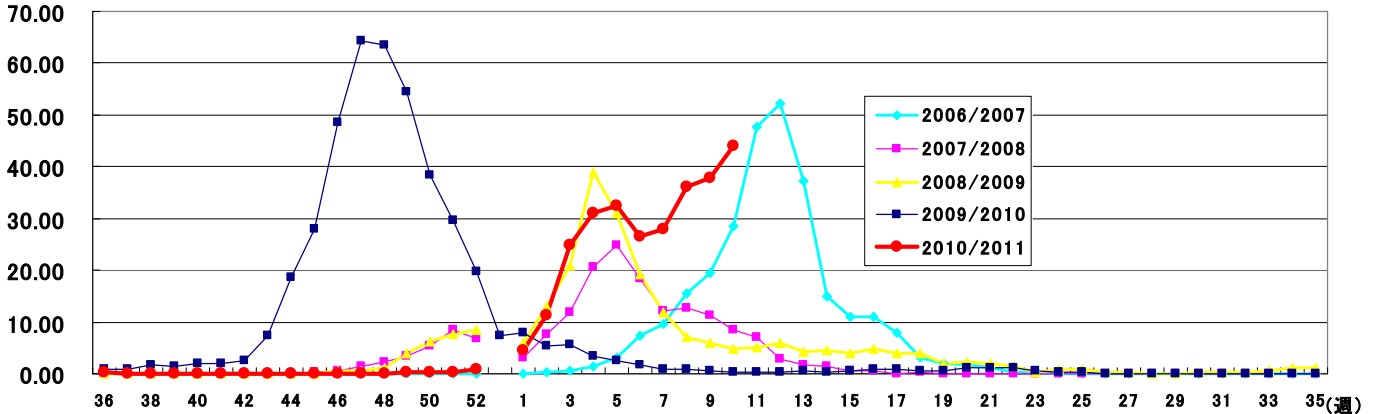
# インフルエンザの流行状況について(3)

※山口県のインフルエンザの定点あたりの報告数は第4週に30以上となり、県では2月4日付けでインフルエンザ流行発生警報を発令しています。第10週現在も警報レベルが続いています。

## 1. 流行状況

各シーズンの発生動向をグラフにしたものです。今シーズンは第1週頃から急増し第6週に減少しましたが、再び増加を続け、第10週は最多報告数となりました(第10週現在)。流行するウイルスの型がA型からB型へ移行した影響と思われます。

(定点あたりの報告数)

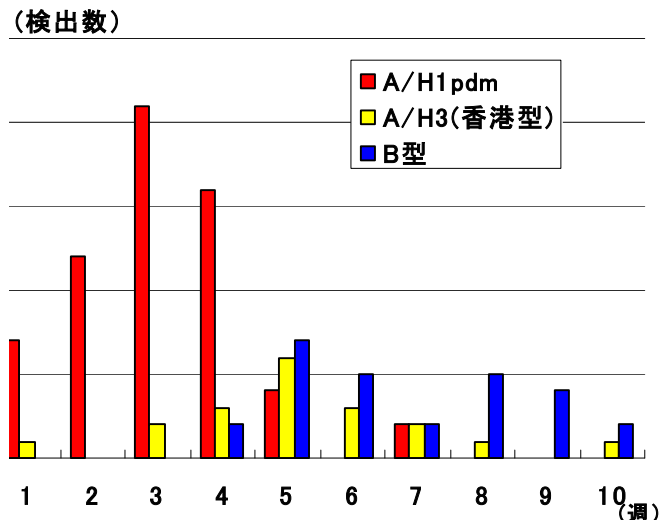
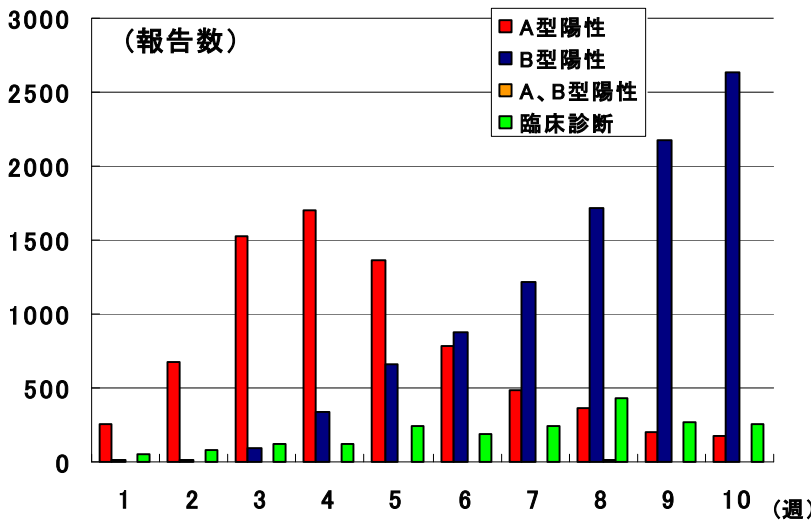


## 2. 迅速検査の結果

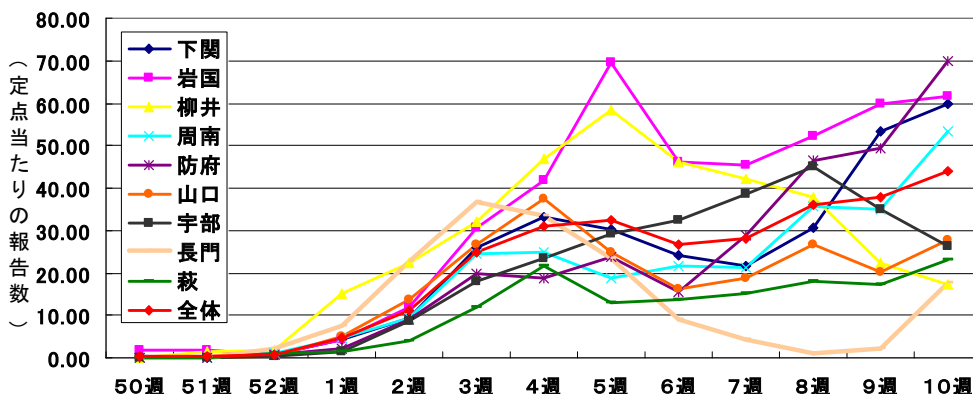
1月はA型陽性が多くみられましたが、徐々にB型が増加し、第10週現在はB型が全体の85.7%を占めています。

## 3. 当所検査の結果

8週以降はB型が多く検出されています。



## 4. 地域別発生状況



県内全域で流行しています。特に、防府、岩国、下関、周南は増加が続き定点あたりの報告数もかなり多くなっています。

山口県環境保健センター  
保健科学部  
〒753-0821  
山口市葵2丁目5-67  
TEL (083)922-7630  
FAX (083)922-7632